

「南部片富士」の名で知られる秀峰岩手山は標高2038m。

県内外からの登山愛好家の方々に親しまれている岩手山はコマクサ、チングルマ、オオバキスミレなど、数多くの高山植物を楽しむことができます。



盛岡市って どんなところ？

岩手県の県庁所在地である盛岡市は、岩手山、姫神山などの山並みと豊かな森に囲まれ、市街地を北上川や中津川など美しい川が流れ、あふれ出る清らかな水に恵まれています。その恵まれた自然から、盛岡は「杜と水の都」とも呼ばれています。

雄大な岩手山の裾野に広がるこの土地は、旧石器時代から人々が暮らし、生活の跡を残しています。縄文時代にはいくつもの集落が点在し、森や野原の恵みと海からの恵みが交わる交易地としてにぎわいが生まれました。

現在では東北新幹線（盛岡・東京間約2時間20分）と秋田新幹線、東北縦貫自動車道などが通り、首都圏や東北各地への交通の利便が高い北東北の拠点であり、「人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をまちづくりの目標として取り組み、にぎわいと安らぎのある北東北をリードし、要となる拠点都市としてさらなる発展が期待されています。



【盛岡市からのゲストランナー(あやほし海中ロードレース大会)】



【ちゅらしま大沖縄店 (株式会社 川徳)】



【盛岡・うるま友好の翼】